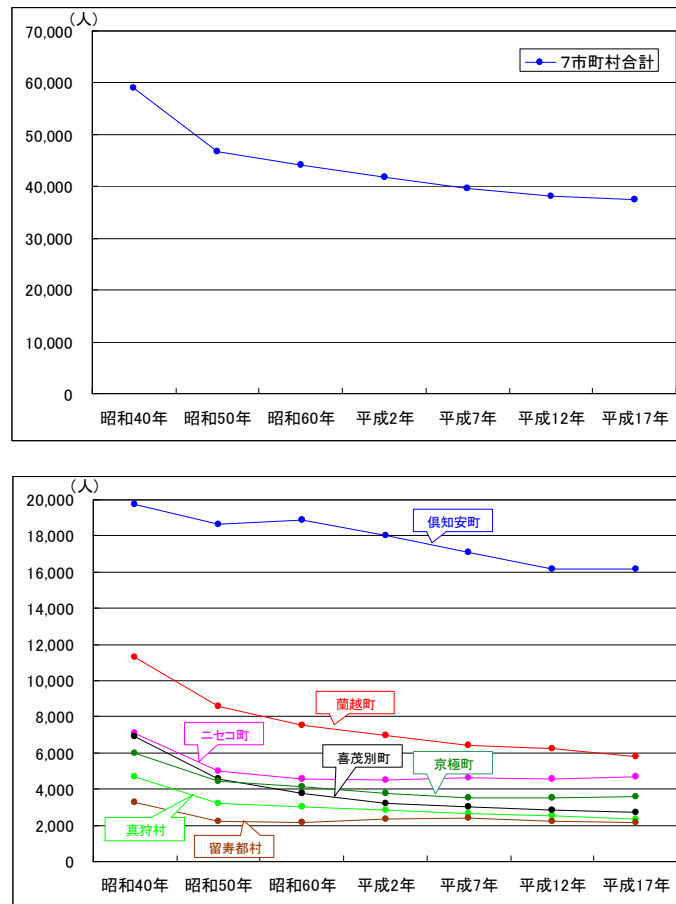


3. 流域の社会状況

3-1. 人口

尻別川流域は、北海道後志管内の1市6町2村で構成されている。流域内5町2村の総人口は平成17年では37,456人となっており、近年では高齢化が進んでいる。



出典: 北海道市町村勢要覧(S40~H17)

図 3-1 尻別川流域の関係市町村の人口変動

表 3-1 流域関係市町村人口に対する後志圏人口の割合の推移

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
蘭越町	11,318	8,574	7,553	6,986	6,450	6,215	5,802
ニセコ町	7,086	5,003	4,593	4,511	4,641	4,553	4,669
真狩村	4,716	3,197	3,028	2,826	2,649	2,536	2,354
留寿都村	3,295	2,246	2,171	2,369	2,388	2,227	2,165
喜茂別町	6,898	4,544	3,749	3,240	3,029	2,843	2,707
京極町	6,011	4,439	4,125	3,775	3,489	3,505	3,583
倶知安町	19,738	18,668	18,892	18,030	17,078	16,184	16,176
流域関係町村人口(人)	59,062	46,671	44,111	41,737	39,724	38,063	37,456

出典: 北海道市町村勢要覧(S40~H17)

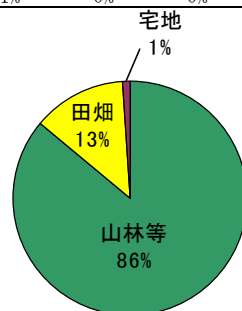
3-2. 土地利用

流域の土地利用は、古くは明治期の開拓に始まり、治水事業や農地開発によって徐々に農地として利用されるようになり、昭和中期から後期にかけて宅地及び田畑が増加傾向にあり、山林・畑・その後は横ばい若しくは漸減傾向にある。現在の土地利用は、山林等が約86%、田畑が約13%、宅地が約1%となっている。

近年においては、約2万haの耕地が広がり、水稻・馬鈴薯・グリーンアスパラ・てんさい等の作付や畜産が行われており、尻別川流域は北海道内有数の農業地帯となっている。また、尻別川流域の上流部から中流部にかけては畑作が主で、下流部の蘭越町は管内最大の水田地帯となっている。

表 3-2 地目別土地利用の割合

地目	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
蘭越町	35.28	11.00	3.12	0.01	0.04	188.47	1.97	33.03	5.66	171.11	449.69
ニセコ町	6.93	22.80	2.10	0.00	0.05	101.98	0.92	40.63	3.71	18.02	197.14
真狩村	0.87	30.27	1.26	0.00	0.06	37.21	1.29	10.81	2.94	29.73	114.44
喜茂別町	0.09	14.90	1.06	0.00	0.01	62.43	0.02	45.31	5.11	60.57	189.50
京極町	2.64	21.35	1.39	—	0.01	63.20	1.81	25.11	4.24	111.85	231.60
倶知安町	12.99	32.02	4.39	0.00	0.34	132.39	2.80	31.87	5.34	39.09	261.23
合計	58.80	132.34	13.32	0.01	0.51	585.68	8.81	186.76	27.00	430.37	1,443.60
割合	4%	9%	1%	0%	0%	41%	1%	13%	2%	30%	100%



出典：平成17年度北海道市町村勢要覧

図 3-2 尻別川流域(市町村別)の土地利用

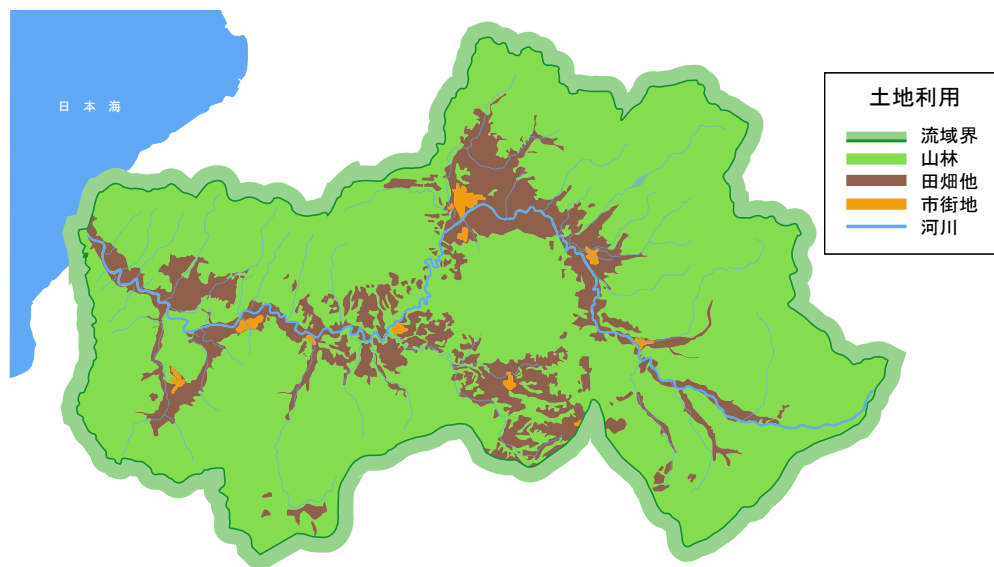
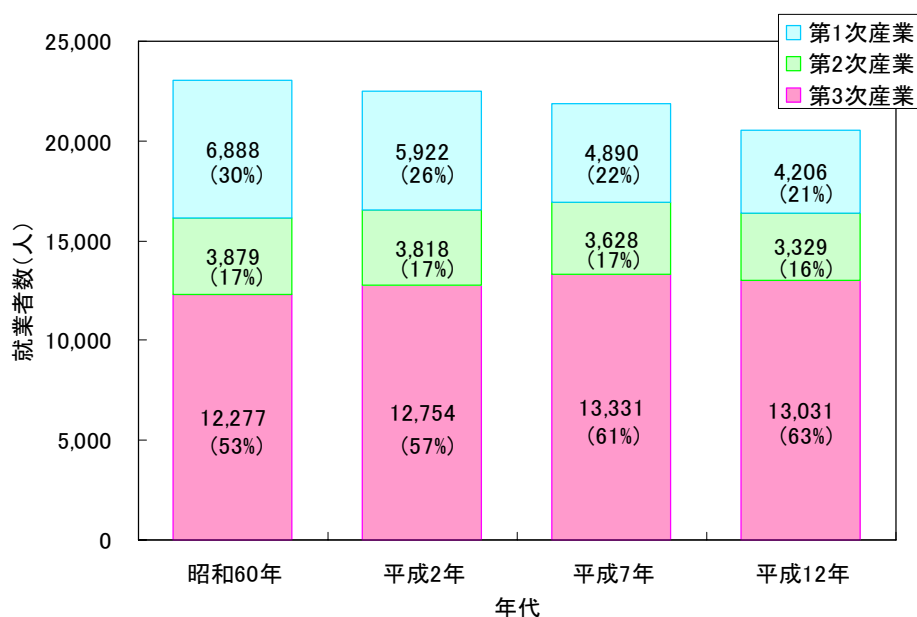


図 3-3 尻別川流域の土地利用

3-3. 産業・経済

流域自治体の産業別就業人口の推移を見ると、流域の産業はサービス業を主体としており、近年の第一次産業の衰退により第一次産業人口が減少し、第一次産業人口の割合が昭和60年の32%に比べて平成12年では21%まで減少しているが、第三次産業人口の割合は53%から63%に伸びている。

第1次産業就業人口の割合を町村別で見ると、真狩村で高く約46%となっているが、第二産業就業人口の割合は、各町村とも約8%から約27%程度となっている。第三次産業は倶知安町で約74%と比較的高く、その他の各町村でも約46%から約64%と高い割合を占めている。



出典：北海道市町村勢要覧(昭和60年～平成17年)

図 3-4 産業3部門別就業者数の推移

表 3-3 尻別川流域町村における産業別就業者数

	蘭越町		ニセコ町		真狩村		留寿都村	
	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
第1次産業	815	26%	565	24%	651	46%	411	30%
第2次産業	691	22%	288	12%	121	8%	128	9%
第3次産業	1,670	53%	1,509	64%	655	46%	812	60%
計	3,176	100%	2,362	100%	1,427	100%	1,351	100%

	喜茂別町		京極町		倶知安町		町村計	
	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
第1次産業	331	22%	491	25%	942	11%	4,206	20%
第2次産業	258	17%	535	27%	1,308	15%	3,329	16%
第3次産業	937	61%	970	49%	6,478	74%	13,031	63%
計	1,526	100%	1,996	100%	8,728	100%	20,566	100%

出典：北海道市町村勢要覧(昭和60年～平成17年)

3-4. 交通

尻別川流域内の交通網は図3-5に示すとおり、国道5路と道道5路が主要幹線と位置付けられている。国道は5号のほか、229号、230号、276号、393号の5路が整備され、道道は京極^{じょうぎんけい}定山溪^{とようら}線、豊浦京極^{いわずない}線、倶知安ニセコ線、岩内洞爺線、豊浦ニセコ線の5路が整備されている。

なお、鉄道ではJR函館本線を幹線として流域の中央部を縦断している。

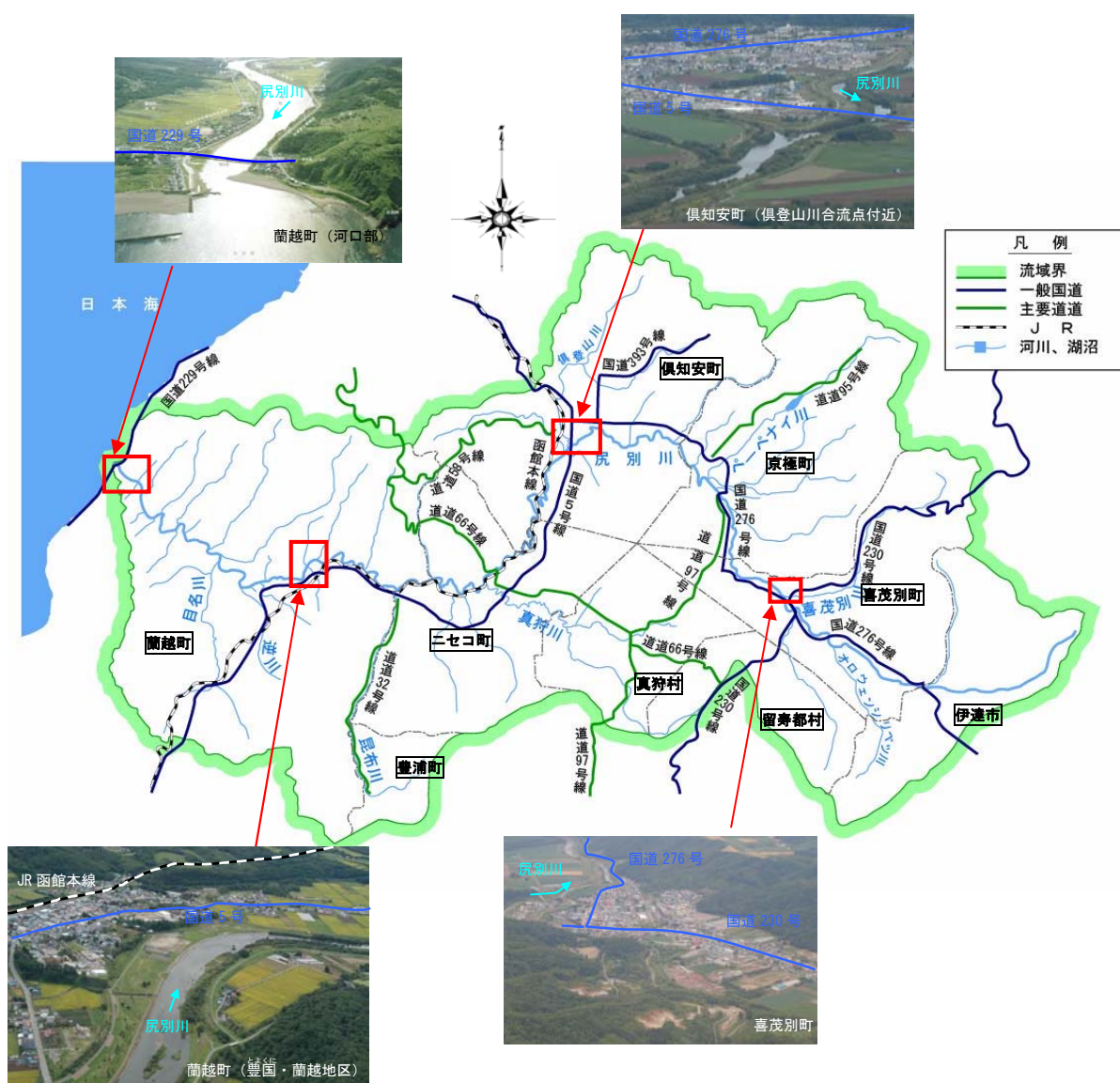


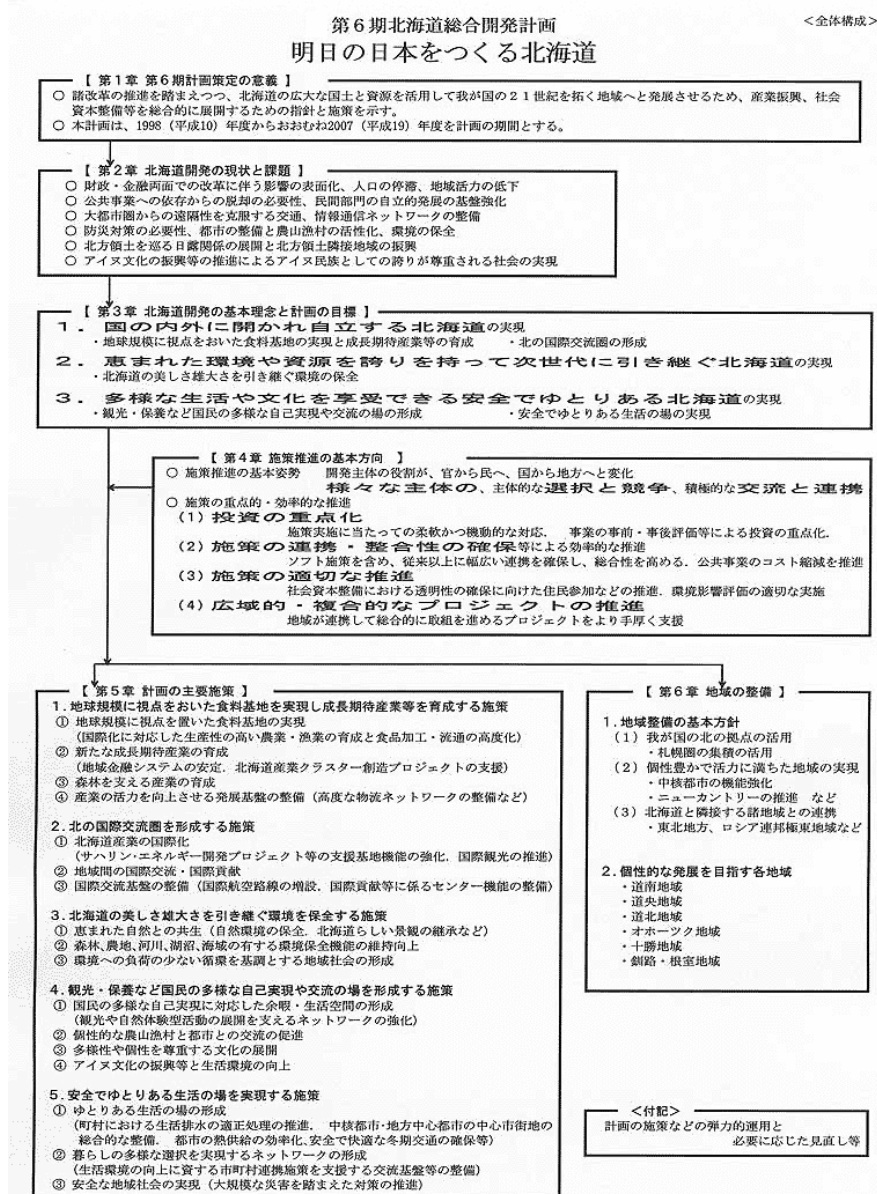
図 3-5 尻別川流域における交通網図

3-5. 関係ある法令の指定状況

(1) 第6期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、行政改革や国際化、地域環境問題への知見の集積などの大きな情勢の変化を受け、地球規模に視点をおいた食糧基地、北の国際交流圏の形成、観光・保養基地の形成や北海道が有する雄大な自然環境の保全、安全でゆとりのある生活環境の創出を目的としている。

これらの目的を重点的・効率的に推進していくための一方針として広域的・複合的な地域プロジェクトの推進を掲げており、複数の市町村が連携を図り、総合的に取り組むプロジェクトを支援してくものとしている。この地域プロジェクトの中には、尻別川水系の各河川が舞台となっているものもあり、河川事業に直接あるいは間接的に関連するものも少なくない。



(2) 地域プロジェクトおよび都市計画

尻別川流域に関連する主な流域プロジェクトとして、「シーサイドパークみなと構想」「喜茂別フラワーストリート構想」「ニセコ花フェスタ綺羅街道」「真狩村市街地再整備推進事業」「真狩特定築公園整備事業」「道の駅フラワーセンター事業」「ルスツリゾート開発事業」がある。

尻別川流域では、倶知安町において都市計画区域が指定されている。

表 3-4 尻別川流域のプロジェクトおよび都市計画区域

プロジェクト名	概要	事業主体
シーサイドパークみなと構想	本町においては、日本海に面した美しい海岸線があって、零細ながらも漁業生産活動が行われている。これらを生かした海浜の公園化を図ることを目的とする。自然の触れ合いや学習とレクリエーション等が行える場の確保と雇用の場の創出、地域活性化と定住人口の増加が期待される。	蘭越町
喜茂別フラワーストリート構想	本町は、国道230号と国道276号の交わる支笏洞爺国立公園の主要観光コースの途上にあり、この構想を実現することにより、北海道、後志観光の玄関として、喜茂別町のイメージアップを図る。地域ぐるみでの参加により、住民の連帯意識の高揚を図ることができる。	喜茂別町
ニセコ花フェスタ綺羅街道	道道岩内洞爺線、「綺羅街道」を中心に、新たなまちづくりの取組みとして「花」という素材にスポットを当て、美しく潤いのある街並みを創出し、美しい市街地景観づくりを行う。	ニセコ町
真狩村市街地再整備推進事業	これまでの街づくりをふまえ、官民一体となって、「住民福祉」「環境保全」「地域振興」を主要な視点として市街地再編を図るものである。	真狩村
真狩特定築公園整備事業	真狩川河川公園のエリアを含めて総合的駐車場の整備を中心に、周辺施設をつなぐ園路などを整備する。	真狩村
道の駅フラワーセンター事業	花をテーマとした観光拠点「真狩フラワーセンター」を道の駅として再整備し、施設の充実と運営体制の再構築を図り、観光入込みの増大による地域活性化を図ることを目的とする。	真狩村
ルスツリゾート開発事業	レジャー産業を一層拡大し、更に充実、発展させ、健全なレジャーが楽しめる都市近郊型のファミリーゾーンの形成を図る	留寿都村

出典:平成 19 年 地域プロジェクト総覧



出典:平成 19 年 地域プロジェクト総覧